

必ず入稿用テンプレートを使用し、テクニカルガイドを読んでデータを作成してください。

入稿の流れ

① 商品を注文

入稿前に印刷通販デジタで商品のご注文を済ませてください。



② データを入稿

注文時に発行された注文No.に沿ってデータ入稿ページまたはマイページからご入稿ください。

注文No.はメールまたはマイページからご確認いただけます。



③ データチェック

入稿データ内に印刷や加工において問題となる箇所が発見された場合、スタッフは処理を一旦止め、お客様へ問題点のご報告と、修正方法のご案内を差し上げます。

データの確認などでご連絡が取れない場合にはデータチェックの完了が翌営業日以降となりますので、お早めのご入稿をお願いいたします。



④ 生産

製造中のデータ差し替えはできませんので、入稿時にデータに問題ないかよくご確認ください。

入稿データのチェックリスト

Illustrator

Photoshop

☐ 原寸で制作

お客様が制作されたサイズそのままで印刷いたしますので、必ず原寸(仕上がりサイズ)で制作してください。注文サイズと入稿サイズが違う場合、どちらが正しいサイズかが判断できません。

☐ .aiまたは.psdで保存してください

データチェックトラブルを防ぐため、Illustratorは.aiで、Photoshopは.psdの形式で保存してください。PDFやEPSなど、他形式の入稿には対応していません。

Illustrator

☐ 配置した画像は埋め込み

画像を配置している場合は、すべての画像を必ず「埋め込み」してください。「埋め込み」にするとIllustratorファイル自体に画像データが取り込まれるため、画像データを別でご入稿していただく必要はありません。

☐ 文字はすべてアウトライン化

入稿前にテキストを全てアウトライン化してください。レイヤーロックとオブジェクトのロックが解除されていることを確認し、全てのデータを選択してアウトラインを作成してください。

☐ PDF互換ファイルを作成にチェックを入れて保存

テンプレートデータは、保存オプション「PDF互換ファイルを作成」にチェックがついています。これはデータチェックの際に必要なですので、別名で保存する際にも外さないようにしてください。

入稿前に再度保存データを開いていただき正常に保存されているか確認をお願いします。

熱転写プリント(トートバッグ・ポーチ・巾着など)

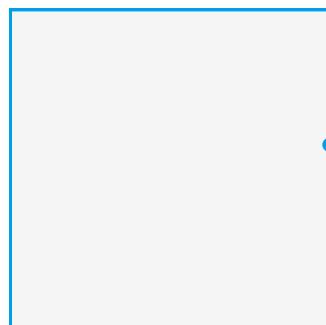
必ず入稿用テンプレートを使用し、テクニカルガイドを読んでデータを作成してください。

テンプレートについて

データ作成前に注文サイズとテンプレートサイズが同じか確認してください。テンプレートのドキュメント情報や既存のレイヤー情報は変更しないでください。

プリント可能範囲について

デザインは絵型上のプリント可能範囲に配置してください。デザインのサイズはテンプレート下部のプリントサイズに収まる大ききで作成してください。



プリント可能範囲

デザインを枠からはみ出さないように希望位置に配置してください。

レイヤーについて

商品(品番)ごとにレイヤーが分けられています。希望の商品を表示、それ以外の商品(品番)レイヤーは非表示にしてデータを作成してください。

Illustrator

レイヤー名	説明
デザイン	デザインを配置してください。
000778-TCC(S)	注文の商品(品番)を表示して使用してください。
1460(S)	
削除禁止	

Photoshop

レイヤー名	説明
前面	前面のデザインを配置してください。
後面	後面のデザインを配置してください。
000778-TCC(S)	注文の商品(品番)を表示して使用してください。
1460(S)	
削除禁止	

データ作成のルール

線や抜きのデザインは太さ3pt以上

文字やデザインの細い箇所は3pt以上を推奨としています。3pt(約1mm)未満の細い線やデザインの抜き部分については潰れ・かすれが発生する恐れがございますので、ご注意ください。

pt数	実線	抜き
5pt		
4pt		
3pt		
2pt		
1pt		

プリント位置について

エプロン・トートバッグ・ポーチ・巾着・マスクではテンプレートに配置された通りの位置にプリントします。希望位置にデザインを配置してください。

https://www.digitaprint.jp/wear_attention_3.php

